

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成 28 年度採択テーマ

事後評価結果

| 研究テーマ名 | 研究代表者 | 総合評価 |
|---|--------------------------|------|
| 深層崩壊に対する警戒避難の発表ならびに解除に資する雨量データ解析手法の構築 （研究期間：H28 年度～H30 年度） | 京都大学大学院農学研究科 教授 小杉賢一郎 | A |
| <p><研究概要></p> <p>紀伊半島大水害時に発生した深層崩壊の跡地やそれらの周辺の非崩壊斜面で集中的な調査が行われている 9 地区を対象として、降雨と地下水位のデータを解析した。各降雨イベントにおける実効雨量のピーク値ならびにピーク発生時刻を特定し、地下水位のピーク値ならびにピーク発生時刻と比較することで最適雨量指標を特定した。さらに、深層崩壊に対する避難を解除するタイミングの検討に資する「降雨後待機時間」を算定するための一連の方法を提案した。</p> | | |
| <p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、雨量と地下水の関係を整理し、ピークラグ（地下水位ピークが実効雨量ピークからどのくらい遅れて出現するかを示したもの）を用いることで降雨終了後に続く危険期間の検討を具体的に可能にしておき、大規模な深層崩壊の警戒避難解除について具体的な手法が提案されている。</p> <p>今後はさらに他崩壊地での分析を行い、条件設定の根拠検討、得られた数値の信頼性検証を進めるとともに、避難解除の判断に資するよう実用に向けた研究を進めて頂きたい。</p> | | |

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い